

# 広報ひだ

5月  
2026年 No.268



プロ特集

まちの熱伝導を、ここから。プロフェッショナルな「地元愛」仲介役

特集

「何とかしたい!」から始まった、こども学芸員の歩み  
～僕らが見つけた宮川町の宝物～



## まちの熱伝導を、ここから。 プロフェッショナルな「地元愛」仲介役

地元の祭りに足を運ばば、どこかで見覚えのある法被姿。今回取り上げるのは、祭り好きにはおなじみ、一般社団法人飛騨市観光協会(以下、観光協会)の栗谷知弘さん(写真左)と瀬之上あすみさん(写真右)です。「観光」と聞くと、まちの魅力を外へ向けて発信する仕事を思い浮かべる方も多いかもかもしれません。しかし、その実態は、よくあるイメージとは180度異なっていました。

### 観光誘致ありきではない、観光のかたち

—4月上旬に神岡町で行われた夜桜夜市でも、観光協会の法被姿をお見かけしました。イベント運営がお仕事の中心ですか？



栗谷さん

はい。もちろん、地元の事業者と連携して物産展へ参加するなど、地域外へのPR活動も行っています。ただし、観光客を「呼び込む」という発想ではありません。地域の人と共にまちを盛り上げ、熱が生まれ、その熱に惹かれて地域外から人が訪れる—そんな観光のあり方を描いています。



夜桜夜市の本部。出店する事業者や協会員を含む約50名を、2名の事務局で取りまとめる。祭りが終わり、まちの人から「お疲れ」と声かけされたときにホッとやりがいを感じるという

—その一環として、イベント運営に注力されているのですね。どのような役割を担っていますか？



瀬之上さん

観光協会が主催する場合と、裏方として関わる場合とで役割は異なりますが、共通しているのは、**地域の人と人をつなぐ「ハブ(仲介役)」としての役割**です。主催した夜桜夜市では、地域ボランティアである協会員のつながりを紹介しながら、着物レンタルやお茶会といった企画を形にしていきました。これは、人のつながりと地元の方々の強い想いがあるからこそ成り立っています。

—4月下旬の古川祭では、主催のイベントと比べてどのような動きが求められますか？



栗谷さん

古川祭では黒子に徹し、祭りが滞りなく行われるよう動きます。具体的には、当日の交通整理に向けた警備員の手配や、警察・消防署との連携、仮設トイレの手配など幅広く対応します。

古川祭という枠組みは同じでも、求められる対応は毎年異なります。開催曜日に応じて来場者数を見込み、毎年4月頭に決まる、起し太鼓や祭り屋台の進行順路に合わせて動線や警備体制を組み立てます。さらに気候も年ごとに変わり、例えば昨年は日中の暑さで熱中症への対応が求められました。こうした変化に応じて、柔軟かつ迅速に動くことが欠かせません。

## まちの「熱」を受け止め、未来へつなぐ

——お祭りが近付くと、観光協会には関係各所からの問い合わせが殺到すると聞きます。



栗谷さん

主催者は気多若宮神社ですが、私たちが裏方の進行役を担っている面もあり、幅広い問い合わせの窓口となっています。順路確定に伴うチラシの配布時期など、祭りに直接関わる内容に加え「柳の枝が伸びている」「鯉の住まいの水が少ない」といった、まちの景観に関する問い合わせも寄せられます。



栗谷さん

地域性もあってか、祭りが近付くと「たぎる」市民の方も多くて。そうした熱を受け止め、適切につないでいくことも大切な役割です。「とりあえず観光協会に言えば何とかかなる」と思われる存在であり続けたいですね。

——まさに、熱伝導の中心にいらっしゃるんですね。火を起こすというより、火をつなぎ、絶やさぬ役割を担っているのだと感じます。



栗谷さん

少子高齢化が進み、祭りの担い手が減っているいま「火を絶やしちやいかな」という想いは強く抱いています。例年9月に飛騨古川まつり広場で行われていた盆踊りも、約20年続いたのち、担い手不足で2024年に一度幕を閉じました。ただ、その流れのなかにも存続を願う声は残っていて。そこで、別団体が企画していたイベントと集約し、さまざまな想いをつなぎながら、2025年に復活させています。



地元の中学生や地域外の協力者「ヒダスケさん」と連携しながら行う鯉の引っ越しの様子。スムーズな運営を支えている



高山市出身の瀬之上さんは、前職時代に池ヶ原湿原や天生湿原を訪れて飛騨市が大好きになり、それがきっかけで転職したそう



栗谷さん

そのなかで、地域活動の一環として地元の中学生も一役買ってくれました。自分たちが暮らす地域を形づくる文化に触れる機会は、地元への誇りや愛着を育てることに繋がると感じています。



瀬之上さん

私たちにとって、まちづくりとは人づくりです。子どもが地元のために頑張る姿を見て、大人たちも「おれらも頑張らんと」と触発され、活気が広がる好循環が生まれている。その実感が確かにあります。

## 「内」から広がる暮らしと観光の循環

——観光協会の役割として、想像以上に「内」への働きかけが大きいのだと感じました。



瀬之上さん

実は、観光協会のInstagram(※)を見てくださっている方の多くは、飛騨市内の方なんです。その企画の一つである「おやしランチ」は、地元の飲食店を巡って紹介する内容で、地元の方からも好評なんです。意外と知られていない名店も多く、「(おやしランチを見て)行ってきたわ」と声かけいただくことも増えてきました。

※写真や動画をインターネットで共有できるサービス



栗谷さん

地元ではまだ知られていない魅力は数多くあり、物産展などで地域外の方と触れ合うことで、新たに見えてくる価値もあります。そうした価値を地域に浸透させていくこともまた私たちの役割です。

最も大切なのは、誰よりも地元の方に地元を好きになってもらい、地域での暮らしを楽しんでもらうこと。その先に、観光の広がりがあると信じています。

観光協会が描く飛騨市の「観光」とは、あくまで暮らしや日常の延長の「結果」でした。祭りという非日常を中心にまちの暮らしを支えながら、そこに溶け合うかたちで観光と融合させていく。そこには、まさに「飛騨市らしい」観光協会の姿がありました。



◀ 飛騨市観光協会の公式Instagram

市民ライター 三代知香



地元で馴染み深い豆つ揚げは、大阪梅田の物産展で人気を博した

この春から  
中学生!

「何とかしたい!」から始まった、こども学芸員の歩み  
～僕らが見つけた、宮川町の宝物～

市教育委員会学芸員三好清超さん(左)・古川中学校藤戸貴生さん(右)

「この場所を、なんとかしたい」。そんな真っ直ぐな想いから始まった、宮川小学校の子どもたちによる挑戦。かつては「年間30日間しか開かない博物館」とも呼ばれ、静かに時を刻んでいた飛騨みやがわ考古民俗館に、今、子どもたちや全国から応援してくださる方の手によって新しい風が吹き込まれ、確かな変化が起き始めています。

開館30周年、山間部の記憶を刻む拠点

皆さんは「飛騨みやがわ考古民俗館」に行ったことがありますか？

宮川町塩屋にある「飛騨みやがわ考古民俗館」は、1995年に完成し、2025年で開館30周年を迎えました。実はここは、全国のみならず、近年はモンゴル、ロシア、ニュージーランド、台湾、韓国の研究者らが訪れる「お宝」が眠る場所です。

圧倒的な収蔵数にみる、先人たちの歩み

収蔵資料は、国重要有形民俗文化財「宮川および周辺地域の積雪期用具」2,800点を含む民俗資料が約1万6,000点。そして、旧石器時代から縄文時代までの考古資料が約4万点と、圧倒的な規模です。

特に、縄文時代の祈りのための石製品「石棒」1,074本が出土した塩屋金清神社遺跡に隣接する立地は、その収蔵量とともに全国に誇るべきものです。かつてこの地が「祈りの道具」の一大製作拠点であったことを物語る、タイムカプセルのような施設です。山間部で生きてきた人々の知恵と歴史が、この場所に凝縮されています。



かつての野良着



宮川町で実際に使われていた山仕事用具



雪国ならではのかんじき

# 「伝える人」がいなければ、この歴史は消えてしまう

## 「伝えたい」という熱意で、子どもたちがガイド

この場所の価値を自分たちの手で守ろうと、宮川小学校の子どもたちが挑戦したのが、来館者への「展示ガイド」でした。令和6年度は3回、開館日にあわせて実施。自分たちで石棒や歴史を深く調べたからこそ、解説には力がこもります。回を重ねるごとに「どうすれば面白さが伝わるか」を工夫し、自らの言葉で語る姿は、訪れる人の心を動かしました。

「お客さんの『へえ～!』という反応が嬉しくて、駐車場がいっぱいになるほど多くの人を訪れてくれた景色を見たときは、本当にやってよかったと思いました」。

昨年5月に開催された「飛騨みやがわ考古民俗館開館30周年記念シンポジウム」では、これらの活動を町民や全国から訪れた研究者らに発表しました。



プレゼンやクイズなど工夫を凝らしたガイド



開館30周年記念シンポジウムでの発表



遺跡発掘時の様子

## 石棒が教えてくれた、4,000年前の息づかい

「石棒は宮川から富山などいろんな場所で見つかっています。4,000年前から地域を超えた交流があったことがすごい!」。

子どもたちが特に興味を持ったのは、施設のシンボル「石棒」の広がりでした。自分たちのまちのものが遠方で大切にされていた事実は、この地域の重要性を実感する発見となりました。

製作途中の資料にも注目し、「一つひとつ形が違う。どんな思いで作ったのか推測するのが面白い」と、先人の営みに深い敬意・関心を寄せています。

## 「この施設に実際に来て、見てほしい」こども学芸員の思い

「昔の人もここで同じように生きていたんだなと考えると面白い。過去の歴史が今とつながっている。これからも大切にしていきたい」。

活動を通じ、子どもたちの思いにも「確かな変化」が起きていました。活動の歩みの中で、「ここを案内する人がいなくなると、この場所の良さを伝える人もいなくなってしまう。」という切実な思いが生まれていました。

「飛騨みやがわ考古民俗館に実際に来て、この凄さを知ってほしい。知らないことや必ず興味を引くものがある施設。ぜひ探してみてください」。



## 欠片から想像する「ものづくり」のプロセスがイチオシ!

完成した石棒だけでなく、作っている途中のものや破片がたくさんあります。昔の人がどうやって石を削り、失敗し、工夫したのか…。4,000年前のものづくりの現場を、ぜひ間近で観察してみてください。



施設では宮川小学校の子どもたちによるガイドが多数動画で観られます!▶





中野山越遺跡出土品以来

# 30年ぶりの快挙! 宮川町で発掘された縄文時代の祈りの道具「石棒」が国重要文化財指定へ!

市教育委員会が令和5年度から3年間実施した調査により、飛騨みやがわ考古民俗館にある石棒群の稀有な価値が再確認されました。特筆すべきは、完成品だけでなく製作過程を物語る資料が極めて豊富な点です。これにより、約4,500年前から3,500年前にかけての製作技術や形態の変遷を体系的にたどることが可能となりました。産出地の特定に加え、大型から小型への変化を裏付ける本資料は、学術的な「基準資料」として極めて高い評価を受けています。この成果が、今回の重要文化財指定の大きな決め手となりました。



## 重要文化財指定は縄文時代の「謎」に迫る第一歩

石棒は縄文時代の代表的な祭祀用具ですが、具体的な使われ方は今も謎に包まれています。今回の指定は、単なる保存に留まらず、製作工程がわかる貴重な資料一式を次世代へ確実に引き継ぐことを意味します。それは、今の科学では解き明かせない歴史の「謎」に、100年後の研究者がいつでも迫れる状態をつくるということ。重要文化財への指定は、謎の核心へ踏み出す、未来へ向けた「第一歩」なのです。



### 学芸員三好清超さんの思い

先輩方が大切にしてきた出土品が国重要文化財に指定され、引き継いだ僕としてもとても嬉しく思っています。

また、飛騨みやがわ考古民俗館の来場者数も年間800人を超えています。研究者の皆さんや石棒クラブ、いつも応援してくれる市内外の皆さん、そしてそれを支えてくださる飛騨市に感謝し、次の世代へしっかりと受け継いでいけるよう、みんなで力を合わせていきたいと思います。

無人開館やデジタルを駆使した活動を応援!



石棒クラブから生まれたメカ石棒くん

## 飛騨みやがわ考古民俗館 開館スケジュール

詳しくは市ホームページをご覧ください

- 4月・5月は終了
- 7月 18、19、20日
- 9月 19、20、21、22、23日
- 10月 10、11、12日
- 11月 1、2、3日

Xで石棒のことをつづやっています



石棒クラブから生まれた石棒くん

■時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

■入館料 無料

■問 文化振興課 ☎0577-73-7496



詳細ページ

## 無人開館でも楽しめます!

管理人不在でも自由に見学いただける「無人開館」を実施しています。無人開館日での来館の際は事前予約が必要。



詳細ページ

## 街なかポケットミュージアム「ポケット石棒展」

■期間 5月31日(日)まで ■時間 10:00 ~ 16:30

■休館日 木曜日

■会場 飛騨古川さくら物産館内 街なかポケットミュージアム

■入館料 無料



詳細ページ

令和8年度飛騨市総合防災訓練

6月14日（日）は、洪水・土砂災害を想定し、垂直避難又は一時避難所への水平避難訓練を実施します。

■市民の皆さんは、ご自身の判断で垂直避難または一時避難所への水平避難

- 事前準備：ハザードマップの確認、避難者カードへの記載、非常持出袋の準備
- ハザードマップの危険な場所居住者は一時避難所へ水平避難
- 一時避難所への避難時携行品：避難者カード、非常持出袋
- 避難時確認事項：避難経路、避難経路上の危険箇所
- 一時避難所受付：区役員による避難者カードの確認
- 援助が必要な方：区役員、知人、消防団等に依頼
- 訓練の細部は、区役員の指示による



■区役員の皆さんは、一時避難所の開錠・開設、避難者カードの確認

- 一時避難所の開錠、受付開設、避難者カード及び備蓄品の確認
- 避難連絡、避難誘導、区内の要配慮者（避難に手助けが必要な方）の確認・援助
- 市役所の確認電話への対応
  - 9:30以降、一時避難所への来所人数、要支援者数、ペット等同行者数等の確認
- 防災士の区訓練への参加は、区役員へ事前に連絡
- 消火栓使用届提出：6月10日（水）までに危機管理課または振興事務所へ



■消防署・消防団は本部・方面隊ごとの計画による水防訓練

■市役所・各振興事務所は災害対策本部訓練、指定避難所開設訓練

■訓練時間（時間が多少前後する場合がありますのでご承知ください）

- 8:00 防災訓練実施の有無について同報無線による一斉放送 「8:10避難準備情報」発表
  - 9:00 警戒レベル3「高齢者等避難」…一時避難所の開錠、要配慮者確認
  - 9:20 警戒レベル4「避難指示」…垂直避難又は避難所への水平避難
  - 11:00 市民の避難訓練終了
  - 12:00 市役所、消防署・消防団の訓練終了
- ※体調不良の方は、訓練参加をご遠慮ください  
 ※各区で訓練内容が異なる場合があります。区役員の指示を受けてください

■訓練参加団体等

飛騨市役所・各振興事務所、各消防署、消防団、飛騨警察署、古川土木事務所、飛騨市防災士会

**重要** 土砂災害 洪水災害

原則 ①垂直避難 加えて、  
②山とは反対側へ

① **垂直避難**

次に ② **山とは反対側へ**

垂直避難をする時は

水平避難は、安全なうちに早期に避難しましょう。  
非常用持ち出し品を持ち、公民館や親戚・友人宅へ避難してください。

自宅 公民館等 親戚や友人宅

水平避難をする時は

## オンライン対談～石棒はなぜ“特別”なのか？ 学芸員×石棒クラブが本音で語る夜

重要文化財の指定が決まった飛騨市の「石棒」。もともとは縄文時代に作られた祈りの道具です。

今回は若き学芸員と、石棒を愛してやまない「石棒クラブ」がタッグを組みます！

考古学的調査からみた学術的視点と、地域コミュニティからみた継続を支える実践的視点。2つの視点から「石棒」を一緒に楽しみましょう！

### ■日時

5月27日(水) 19:00～20:00

### ■形式

Xでのスペース配信

(どこからでも参加OK！)

Xアカウント「石棒クラブ」で検索！

問 文化振興課 ☎0577-73-7496

## 山林にて作業される（林業）皆さんへ 緊急通報カード「G-FOREST@HIDA」届出のお願い

消防署でもしも事故が発生した場合に迅速な連携ができるよう「G-FOREST@HIDA」を新たに導入しましたので、作業情報の共有をお願いします。

「G-FOREST@HIDA」は、現場との連絡手段であったり、消防との合流場所を予め共有することにより万が一の際、迅速に対応することが目的です。届出はフォームからとなります。（※3日前まで）

作業前に「G-FOREST@HIDA」への届出を忘れず、安全第一で作業を実施してください。

ご不明な点は、最寄りの消防署までお問い合わせください。



詳細ページ

問 古川消防署救急課 ☎0577-73-0119

## 飛騨市の公金納付 口座振替を推進します！

### 口座振替のメリット

#### 便利！

金融機関や市役所に納付に向く必要がありません。

#### 確実！

納付忘れがなく、納付の記録も通帳で確認・管理できます。

#### 安全！

現金を持ち歩く必要がなく安全です。



### 口座振替の申込は次の3ステップで完了！

1

市役所、各振興事務所、下記金融機関の窓口で申込書をお願いします。

2

申込書に必要事項を記入し、通帳届出印を押印します。

3

金融機関の窓口へ申込書を提出します。

#### 口座振替ができる金融機関

- ・ ゆうちょ銀行
- ・ 高山信用金庫
- ・ 北陸銀行
- ・ 飛騨信用組合
- ・ 大垣共立銀行
- ・ 飛騨農業協同組合
- ・ 十六銀行
- ・ 東海労働金庫
- ・ 富山第一銀行

#### 口座振替ができる税金・料金等

- ・ 市県民税
- ・ 介護保険料
- ・ 固定資産税
- ・ 上下水道使用料
- ・ 軽自動車税
- ・ 保育料
- ・ 国民健康保険料
- ・ 市営住宅使用料
- ・ 後期高齢者医療保険料
- ・ 育英基金償還金

## 固定資産税第1期納付

固定資産税第1期の納期限は6月1日(月)です。必ず期限までに納めましょう。

### ■口座振替の場合

納期限前日までに残高の確認をお願いします。

### ■納付書の場合

納付書に記載の金融機関、コンビニ、スマートフォン決済アプリ等で納付してください。

※一括納付を希望される方は、第1期～4期の4枚の納付書を一度にご使用ください

※納税通知書の記載事項をよくご確認ください

### 問 税務課

☎ 0577-73-3742

## 軽自動車税納付

軽自動車税の納期限は6月1日(月)です。

### ■口座振替の場合

納期限前日までに残高の確認をお願いします。

### ■納付書の場合

納付書に記載の金融機関、コンビニ、スマートフォン決済アプリ等で納付してください。

### ■軽自動車税納税証明書

軽自動車は納税確認の電子化により車検時に納税証明書の提示が不要となりました。このため口座振替納付の方への車検用納税証明書は送付しません。

なお、納付から証明までに2週間程度かかるため、必要な方は窓口にて証明書を発行します。

### 問 税務課

☎ 0577-73-3742

## 令和8年度市・県民税の所得証明書の発行

6月1日(月)から令和8年度(令和7年中)の所得額や課税額などが記載された「市・県民税所得課税証明書」が、市役所税務課・各振興事務所の窓口、コンビニエンスストアのマルチコピー機で発行可能となります。

### ■発行手数料

1通 300円

### ■持ち物

【市役所・振興事務所の窓口での交付の場合】

運転免許証・マイナンバーカードなどの本人確認書類

※平日の9:00～16:30

※本人および同一世帯の親族以外の方が証明書を請求する場合は、本人からの委任状・印鑑(捺印)が必要です

【コンビニ交付の場合】

マイナンバーカードと暗証番号が必要です。

※ご自身で端末を操作しての発行

※利用可能時間6:30～23:00(店舗の営業時間により異なります)

※コンビニ交付サービスが利用できるのは飛騨市民のみです。飛騨市から他の市町村へ転出届を提出された場合は、利用できません

### 問 税務課

☎ 0577-73-3742

## 岐阜県から自動車税納付

自動車税の納期限は6月1日(月)です。必ず納期限までに納めましょう。

詳しくは自動車税の納税通知書をご覧ください。

※自動車税の納税通知書は5月7日に発送済み

自動車税は、教育や福祉などの行政サービスを行うための大切な財源です。

### 問 岐阜県自動車税事務所

☎ 058-279-3781

### 問 飛騨県税事務所自動車税出張所

☎ 0577-36-1400

## 高山年金事務所の出張年金相談

下記の日程で年金相談を行います。(事前予約可)

### ■相談内容

- ①年金受給に関すること
- ②年金記録に関すること

### ■場所および日時

古川会場 飛騨市役所本庁舎2階

6月11日(木) 10:00～15:00

神岡会場 神岡振興事務所2階

6月25日(木) 10:00～15:00

### ■持ち物

- ①年金手帳または年金証書
- ②本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証等)
- ③委任状(本人が来庁できない場合)

### 問 (古川) 市民保険課

☎ 0577-73-7464

### 問 (神岡) 神岡振興事務所市民福祉係

☎ 0578-82-2252

## 国民健康保険の届出は14日以内に

国民健康保険に加入したり(職場の健康保険などをやめた等)、喪失する(職場の健康保険などに加入した等)場合は14日以内に届出が必要です。

### ■加入の届出が遅れると

保険料は、届出をした月からではなく、資格を得た月の分まで遡って保険料を納めなければなりません。(遡及賦課)

### ■喪失の届出が遅れると

保険料が請求され続けるうえ、国民健康保険の資格で受診された場合は、国保が負担した医療費をあとで返していただかなければなりません。



問 市民保険課 ☎0577-73-7464



喪失手続き

## 国民健康保険人間ドック受診費用の助成

### ■対象

- 次のすべてに該当する飛騨市国民健康保険加入者
- ・受診日現在で満35歳以上の方
- ・国民健康保険料の滞納がない方
- ・今年度の特定健診が未受診の方
- ・人間ドックの結果を提供できる方

※結果により特定保健指導の対象となる場合、市保健師の指導を受けること

### ■助成額

16,000円

### ■事前申請・受診期限

令和9年2月27日(土)

※助成を受けるには受診前に市民保険課または各振興事務所窓口、またはオンラインでの申請が必要です



問 市民保険課 ☎0577-73-7464



事前申請

## 特定外来生物防除の実施及び防除ボランティアの募集

### 特定外来種防除の実施

県立自然公園へのアクセス道路周辺など、市内各所にて防除(抜き取り)を行いますのでご理解、ご協力をお願いします。なお、防除作業は、外来生物法に従い適切に行います。

- 期間 6月～10月頃
- 場所 天生県立自然公園及び奥飛騨数河流葉  
県立自然公園へのアクセス道路周辺
- 施工業者 飛騨市シルバー人材センター
- 防除対象 オオキンケイギク(キク科)、  
オオハンゴンソウ(キク科)
- 内容 手作業による抜き取り、焼却処分をします。



オオキンケイギク



オオハンゴンソウ

### 防除ボランティアの募集

特定外来生物に指定されている上記2種類の植物について、市内各地での繁殖が確認されています。しかし、すべての地域で防除作業を実施することはできません。そのため、防除・駆除ボランティアを募集します。「防除方法」「処分」など事前相談をはじめ、現地における「防除指導」、「道具の貸出」などボランティアの皆さんを支援します。

問 環境課 ☎0577-73-7482

## 3日間で学ぶ「介護に関する入門的研修」の受講生募集

これまで介護と関わりのなかった方や、介護に関心を持つ介護未経験者の方が介護の基本的な知識・スキルを身につけるとともに、高齢者の特徴や、介護に携わる上で必要なことなどが学べる研修会を開催します。この研修の修了者は、飛騨市支え合いヘルパーの資格が取得できます。この機会にぜひお申し込みください。

- 日 時 7月26日(日)、8月2日(日)、9日(日) 8:50～17:00
- 会 場 ハートピア古川 1階 相談室A
- 受講料 無料(テキスト代1,485円)  
※高校生はテキスト代も無料
- 定 員 16名
- 締 切 7月16日(木) 正午
- 申込方法 フォームまたは電話



問 申 地域包括ケア課 ☎0577-73-6233 申込フォーム

## はじめて取り組む優しい介護「介護職員初任者研修」受講生募集

「介護職員初任者研修」を修了すると、介護施設はもちろん、訪問介護などの仕事に就くことができ、安定した就業につながります。また、介護の知識や技術を身に付けることで、家庭内の介護にも役立ち、ご家族の安心にもつながります。この機会に、介護のスキルアップをしませんか。

- 日 時 9月1日(火)～11月4日(水)の週3日程度 9:00～16:10
- 会 場 高山市清見支所(高山市清見町三日町305)
- 受講料 無料(テキスト代5,720円)  
※高校生はテキスト代も無料
- 定 員 20名(介護職未経験者優先)
- 締 切 8月10日(月)
- 申込方法 サンビレッジ国際医療福祉専門学校  
電話 0585-45-2220 FAX 0585-45-0178  
メール collage-j@shinsei-kai.or.jp  
※メールの場合、件名に「初任者研修」と記入

問 地域包括ケア課 ☎0577-73-6233

## 大切な人を“触れて”整えられるホームケア講座を開講(10BHS)

現代の生活の中で自然に育ちにくい赤ちゃんや子ども、大人の動かしやすいからだづくりを助けるマッサージ、「10(テン)BHS」の手技の講座を開講します。

専門知識がなくても、全身を安全に、優しく、バランスよく整えられます。学びたい方なら子どもから大人まで誰でも受講でき、ガイドとして認定します。(無料・事前申込制)

### 【開講日程(各回同内容)】

- 6月26日(金) 16:30～18:30
- 6月27日(土) 9:30～11:30

- 場所 ハートピア古川 2階和室
- 講師 町村純子 氏



詳細ページ



申込フォーム

問 地域生活安心支援センターふらっと ☎0577-73-7483

## 「はぐみんの日」親子が互いに育ち合うマッサージ体験(10BHS)

身体を整え育むマッサージ「10(テン)BHS」を親子で行うワークショップを開催。手技は知識がなくても普段の生活動作のついでに安全に取り入れられます。赤ちゃんのご家族が、互いに動きやすく、呼吸しやすく、成長に必要な刺激を感じ取りやすい身体を作り上げましょう！将来の不慮対応にもなります。(無料・申込不要)※子育て支援センター利用登録は必要)

- 日時 6月26日(金) 13:30～15:00

- 場所 ハートピア古川 2階和室
- 講師 町村純子 氏

※0～1歳程度の乳児連れにおすすめ



詳細ページ

問 古川子育て支援センター ☎0577-73-6901

## 消防団の功労者を市ホームページで紹介しています

4月5日、飛騨市消防団の入退団式が開催されました。式典では、新たに志を持って入団した団員への辞令交付や、長年地域を守り続けた退団者への感謝状贈呈が行われました。併せて、多大な貢献をされた団員やご家族、事業所の皆さんへの表彰も行われました。

市ホームページでは、地域防災の要として尽力され、受章された功労者の皆さんの一覧を詳しく紹介しています。

問 消防本部総務課 ☎0577-73-6198



詳細ページ

## 親子ワークショップ 「親子でつくろう！トーテムポール」

粘土で楽しいトーテムポールをつくりましょう。親子で一緒に粘土を握り、白や金の絵の具で模様を描いて、おうちを守る飾りをつくりましょう。

- 日 時 6月7日(日) 13:30～16:00
- 会 場 古川郷土民芸会館 工房
- 講 師 山下ちはる氏(臨床美術士)
- 対 象 小学生(1年生～6年生)
- 定 員 親子15組(多数の場合は抽選)
- 参加費 400円
- 締 切 5月23日(土)
- 申込方法

チラシの申込書をFAX、または窓口持参  
フォームからも申込可能  
※詳しくは市ホームページ・チラシを  
ご覧ください



問 飛騨市美術館 ☎0577-73-3288

詳細ページ

## 『袖垣治彦展』関連イベント 親子ワークショップ「葉っぱでつくるミニ行灯」

葉っぱのスタンプで模様を付け、カラーセロハンを貼って行灯(あんどん)をつくります。葉っぱの模様の美しさとカラフルな色の組み合わせによる、ほのぼのとしたミニ行灯をつくりましょう。

- 日 時 6月14日(日)  
13:30～16:00
- 会 場 古川郷土民芸会館 工房
- 講 師 松見ひろ子氏(木版画家)
- 対 象 年長児～小学6年生
- 定 員 親子15組  
(多数の場合は抽選)

- 参加費 300円
- 締 切 5月30日(土)
- 申込方法

チラシの申込書をFAX、または窓口持参  
フォームからも申込可能  
※詳しくは市ホームページ・チラシを  
ご覧ください



問 飛騨市美術館 ☎0577-73-3288

詳細ページ

## 第26回飛騨河合音楽コンクールの出場者を募集

飛騨河合音楽コンクールは飛騨市を舞台とした若手音楽家育成を目的に開催される音楽コンクールです。参加資格は年齢のみで、アマチュアの方からプロを目指す方まで幅広くご参加いただけます。当日の審査員は東京フィルハーモニー交響楽団首席チェロ奏者の金木博幸氏ほか、国内屈指のプロ奏者が務めます。

- 日 程 予選：8月7日(金) 本選：8月8日(土)
  - 会 場 飛騨市文化交流センター
  - 参加資格 満15歳以上～満39歳以下(2026年4月1日現在)
  - 募集部門
    - ・弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)
    - ・木管楽器(フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット)
    - ・金管楽器(ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ)
    - ・ピアノ ・声楽
  - 参加費用 予選：8,000円 本選：12,000円  
(公式伴奏者を依頼する場合は別途料金が発生します。)
  - 賞 金 第1位 50万円 ほか
  - 応募受付 フォームもしくは郵送
  - 受付期間 5月11日(月)～6月26日(金)
- ※その他詳細は市ホームページをご覧ください



詳細ページ 申込フォーム

問 河合振興事務所(飛騨河合音楽コンクール事務局) ☎0577-65-2221

**第26回  
飛騨河合音楽  
コンクール**

予選/2026年8月7日(金)  
本選/2026年8月8日(土)

会場/予選：小ホール 本選：スピリットガーデンホール

**参加資格**  
15歳～39歳(2026年4月1日現在)  
※国籍不問

**賞金**  
第1位 50万円  
第2位 25万円  
第3位 15万円  
※奨励賞(賞状)は  
別途を授与

お問い合わせ先  
飛騨音楽の里 事務局  
飛騨河合音楽コンクール事務局

### 飛騨市少年の主張大会

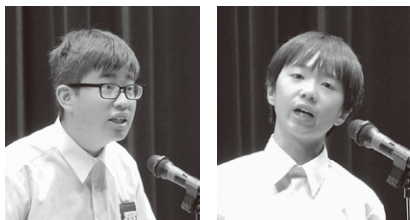
市内の小中学生が日頃感じていることや将来の希望、社会のさまざまな出来事に対する意見などを自分たちの言葉でユニークに元気よく発表します。ぜひご来場ください。

#### 開催日

6月21日(日)9:30～12:00(予定)

#### 場所

古川町コミュニティセンター  
(古川町若宮2丁目1-66)



船坂優斗さん

上田智木さん

※写真は令和7年度の飛騨地区選考会に推薦された方です

#### 問 生涯学習課

☎ 0577-73-7495

### 全国一斉「人権擁護委員の日」 特設人権相談所開設

毎年6月1日は「人権擁護委員の日」です。人権擁護委員制度の周知と人権思想の普及高揚を図ることを目的に、全国各地で「人権擁護委員の日」の前後に、特設人権相談所を開設します。いじめ、体罰、差別、ハラスメントなど、家庭内、近隣間のもめごと、悩みごとなど、身近なことで困っていることがあれば、人権擁護委員が相談に応じます。相談は無料で秘密は厳守します。どなたでもお気軽にご利用ください。

#### 日時

6月2日(火)  
13:30～15:30 ※予約不要

#### 場所

ハートピア古川・河合町公民館・  
宮川町公民館・神岡町ふれあいセンター

#### 問 市民保険課

☎ 0577-73-7464

### 5月31日は世界禁煙デー 5月31日～6月6日は禁煙週間です

「さあ、禁煙をはじめよう」  
5月31日は「世界禁煙デー」です。また国では毎年5月31日～6月6日を「禁煙週間」と定めています。

さまざまな生活習慣病や肺がんなど、深刻な健康被害の原因となる喫煙。また、受動喫煙によって非喫煙者の健康が損なわれることも問題となっています。自分のために、周りの人のために、禁煙に取り組んでみませんか？



#### 問 保健センター

☎ 0577-73-2948

### あなたの悩みに、誰かとつながる安心を ～5月は「孤独・孤立対策強化月間」です～

誰かに頼りたくても頼れない。孤独・孤立の悩みは誰にでもあるものです。内閣府の調査によると、孤独と感ずることが「ある」と答えた方が4割という結果が出ており、決して他人事ではありません。

そんなとき、誰かとつながり会話することで、気持ちが軽くなることがあります。

孤独・孤立になっても助けを求めやすい、声をかけやすい社会をみんなでつくっていくため、毎年5月を孤独・孤立対策強化月間とし、行政・NPO・地域・企業などが連携してさまざまな取り組みや支援活動を行っています。

ひとりや家族内で抱え込まず、お気軽にご相談ください。



孤独・孤立 対策  
官民連携プラットフォーム

#### 問 地域生活安心支援センター「ふらっと」

☎ 070-2237-7730 (ショートメール可)

問 総合福祉課 ☎ 0577-73-7483

### 令和8年経済センサス活動調査

総務省・県・市では、6月1日を基準日とし、すべての事業所・企業を対象とした「令和8年経済センサス活動調査」を実施します。

5月中旬以降、調査員が対象の事業所を訪問し調査票等(青色の封筒)を配布しますので、調査へのご理解とご協力をお願いします。



経済センサス  
活動調査

令和8年6月1日

4月～5月にかけて調査票をお届けします。

回答はインターネットがおすすめです。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。

問 総合政策課 ☎ 0577-73-6558

## 屋外広告物にはルールがあります

岐阜県屋外広告物条例に違反して広告物を表示・設置した場合、許可の取消、是正のための措置、除却などを命ずることがあります。

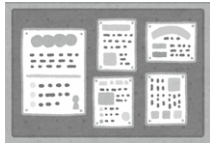
安全で美しい景観を守るため、ご協力をお願いします。

### ■屋外広告物とは

ビルの屋上にある広告塔、建物の壁にある壁面広告や電柱広告などその形態はさまざまです。また、その内容が営利的広告かどうかは問いません。自分の店舗や会社などに表示する店舗名や会社名なども屋外広告物になります。

### ■屋外広告物の多くは許可が必要です

幹線道路沿いや市街地などに屋外広告物を設置する場合、その多くは許可手続きが必要です。自社の店舗や会社などに表示する会社名なども、一定の基準を超えない場合を除き、許可が必要です。



問 建築住宅課 ☎0577-73-0153

## 市公式SNSで市の情報を発信しています

市では、SNSを活用して情報発信を行っています。SNSでは、旬でリアルタイムの情報を手に入れることができますので、ぜひご利用ください。

### ■市公式 SNS

下コードからご登録いただくことができます。



LINE・メール



Facebook



Instagram



### ■配信内容

- ・災害などの緊急情報
- ・まちの話題（イベントの開催報告）
- ・各種イベントや行政情報などの暮らしに役立つ情報

問 総合政策課 ☎0577-62-8880

## 行政相談委員による無料相談

暮らしの中で、役所の仕事について不満を感じたり、分からないことはありませんか？

そんなあなたの声を総務大臣が委嘱した行政相談委員がお聴きします。


相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

### ■各地区の行政相談委員および令和8年度の相談実施日は次のとおりです

古川町	桐山 吉衛 相談委員	相談日 6/8(月)、10/2(金)、1/19(火) 10:00 ~ 12:00 場 所 飛騨市役所 本庁舎2階 会議室
河合町	松井 重隆 相談委員	相談日 6/18(木)、10/13(火)、1/13(水) 10:00~12:00 場 所 河合振興事務所
宮川町	澤之向 公人 相談委員	相談日 6/15(月)、10/15(木)、1/15(金) 10:00 ~ 12:00 場 所 宮川町コミュニティセンター 2階 第3会議室
神岡町	福永 聡 相談委員	相談日 6/26(金)、8/25(火)、10/26(月)、12/25(金)、 2/25(木) 10:00 ~ 12:00 場 所 神岡振興事務所 2階 2-1会議室

問 総務課 ☎0577-73-7461


相談コーナー						
相談名・相談内容	実施日	時間	場所	問い合わせ		
<b>もの忘れ相談</b> ・もの忘れや認知症の相談 ・受診や介護の相談など  <b>脳体力測定「コグエボ」</b> ・タブレットを使用した脳トレ ・生活の工夫をアドバイス  <b>カフェ</b> ・認知症カフェ、脳トレカフェなど  <b>認知症サポーター養成講座</b>	<b>【要予約】</b> <b>【利用無料】</b> 月曜日～ 金曜日	9:00～ 15:00	<b>オレンジの森</b> 古川町新栄町11-5ソタビル2階 (1階にコインランドリー、駐車場あり)	<b>オレンジの森</b> ☎090-1408-1017(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください	相談や脳トレは会場に来場できない方には、相談員が訪問します。予約時に訪問希望と伝えてください。	
	<b>【要予約】</b> <b>【利用無料】</b> 月曜日・火曜日 水曜日・金曜日	9:00～ 15:00	<b>オレンジ相談なないろ</b> 神岡町殿789-4 旧工藤医院 (駐車場あり)	<b>オレンジ相談なないろ</b> ☎080-7095-6575(月～金) ※詳細日時はお問い合わせください		
<b>こころの相談室【要予約】</b> (精神保健福祉士によるこころの相談)	6/4(木)	13:30～ 15:30	ハートピア古川	保健センター ☎0577-73-2948		
<b>若者就労相談【要予約】</b> (若者を対象とした就労相談)	6/3(水)、10(水) 17(水)、24(水)	13:00～ 16:00	古川町コミュニティセンター	岐阜県若者サポートステーション ☎0577-35-4772		
<b>ビジネスサポート相談【要予約】</b> (売上拡大、経営改善など経営上の相談)	6/4(木)、5(金) 22(月)、23(火)	10:00～ 17:00	古川町商工会	古川町商工会 ☎0577-73-2624		
	インターネットでの相談も対応しています。詳しくは直接お問い合わせください。			神岡商工会議所	神岡商工会議所 ☎0578-82-1130	
<b>ハローワーク出張相談【予約不要】</b> (職業相談、シルバー人材入会説明)	6/23(火)	11:00～ 15:00	古川町コミュニティセンター	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144		
	6/8(月)	13:00～ 15:00	神岡商工会議所	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144		
<b>消費生活相談員による無料相談</b> (専門の消費生活相談員による消費生活相談)	6/3(水)	10:00～ 15:00	飛騨市役所	総務課 ☎0577-73-7461		



こころといのちの相談窓口

相談窓口情報を悩み別に検索できるサイトです。電話でのご相談も受け付けています。

こころの健康相談統一ダイヤル TEL0570-064-556



## 市営住宅入居者の募集

公募住宅	諏訪田団地A棟	諏訪田団地A棟	サンアルプ旭B棟	サンアルプ旭E棟	森茂住宅	宮川団地
種類	特公賃	特公賃	公営	公営	特定	特公賃
募集戸数	(単身用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(単身用) 3戸	(世帯用) 1戸
所在地	古川町杉崎	古川町杉崎	神岡町殿	神岡町殿	神岡町森茂	宮川町林
構造・規模	R C造5階建	R C造5階建	R C造6階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建
間取り	1DK	2LDK	3DK	2DK	1K	2LDK
家賃	入居者の所得に応じて決定					
	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	共益費別途	共益費別途

■敷金 家賃の3カ月分 ■申込期間 5月22日(金)～5月29日(金) ■入居予定日 7月1日(水)

※RC造…鉄筋コンクリート造 S造…鉄骨造

- ・入居資格について、所得等の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください
- ・申込書は、本人または同居予定者の方が建築住宅課または各振興事務所まで直接ご提出ください

問 建築住宅課 ☎0577-73-0153 (古川・河合・宮川) 神岡振興事務所 建設農林課 基盤係 ☎0578-82-2254 (神岡)

## 図書館蔵書点検のため 休館します

期間中、館内の資料を総点検し、場所の確認、破損や紛失資料の有無など、資料の状態を把握します。ご協力ください。

### ■休館期間

5月25日(月)～5月29日(金)

### ■期間中できること

- ・返却ポストへの本の返却
- ・ひだ電子図書館の利用

### ■期間中できないこと

- ・図書館へ入ること  
(1階・2階ともに)
- ・貸出、電話での予約や貸出延長
- ・各種問い合わせ

問 飛騨市図書館 ☎0577-73-5600  
神岡図書館 ☎0578-82-1764

## 図書館においてよ 新着図書ピックアップ

### 大人向けのオススメ



『魚へん漢字 おいしい解体新書』  
魚偏漢字研究所/著  
幻冬舎コミックス

魚偏の漢字とその魚の食べ方や雑学を紹介합니다。島国日本の各地に伝わるおいしそうな料理、いっぱい食べたくなりました。

### 子ども向けのオススメ



『地域ブランドで日本を知る 東日本編』  
岩崎邦彦/監修 すずき出版

東日本各県の地域ブランド品を学べる1冊。みなさんは地域ブランド品をいくつ知っていますか？

問 飛騨市図書館 ☎0577-73-5600 <https://hida-lib.jp>

## 令和7年度「交通安全俳句」入選作品を紹介します

市内高校生に交通安全意識を啓くことを目的に俳句を作成いただいています。令和7年度の入選作品を紹介します。

春	
夜桜に見惚れず走る 春の道	神岡高校 1年 花井 那々実
ゼブラゾーン 手をあげ渡る 春の星	神岡高校 1年 森下 滉士朗
手を挙げて 一步踏み出す 花吹雪	吉城高校 2年 千原 あずさ
夏	
夏休み ボール転がる 曲がり角	吉城高校 2年 中畑 匡人
夏空へ ベルト締めたら さあ出発	吉城高校 2年 松井 茜
秋	
長旅は 休みながらの 渡り鳥	吉城高校 2年 谷邊 裕作
秋日和 確かめながら 曲がる道	神岡高校 3年 濱本 小羽
稲穂揺れ ゆっくり進む 杖の音	吉城高校 2年 仲表 ありす
その一杯 帰らぬ命 秋の夜	神岡高校 2年 小瀬 大悟
濁り酒 霞む視界の 端に影	吉城高校 2年 山口 蒼人
秋の暮れ カチッと響く 命の音	神岡高校 2年 森本 愛梨
冬	
寒の星 代行呼ぶのが 生きる道	神岡高校 2年 横井 将人

※提出時の学年で記載

問 飛騨警察署 ☎0577-73-0110

## 飛騨警察署からのお知らせ

### 山菜採りによる遭難に注意!

例年、飛騨市でも山菜を採りに出かける人が、山中で道に迷ったり、負傷する事案が発生しています。特にタケノコ採りは、慣れた場所であっても視界を遮るクマザサにより、道に迷いやすく危険です。いつも行く山でも油断せずに、次の対策をお願いします。

- 家族等に入山計画を告げる
- 単独での入山、行動を避ける
- 携帯電話を持ち、GPS機能を活用
- 道に迷ったときは、落ち着いて来た道に戻る
- 戻れない時は風雨を避けて体力を温存して、救助を待つ
- 食料、水、防寒着、雨具を準備
- クマ鈴、ホイッスルを携帯する

問 飛騨警察署  
☎0577-73-0110



点字版・音声版をご希望の方は、県秘書広報課へご連絡ください。音声版には、CD(デジター編集)での提供と音声用のテキストデータの配信もあります

## PICKUP

## 次世代へつなぐ、岐阜の農業ビジョン

■問/県農政課 ☎058(272)8415

全国では令和12年に令和2年比で半減するおそれがあるなど、農業従事者の急減が進むなか、地域農業を牽引する経営体を核に多様な担い手が支え合う「ハイブリッド型農業」への転換に向け、「アグリパーク構想」の推進や、消費者に選ばれる農畜水産物の生産拡大と需要創出等を進めます。これらを通じ「楽しい農業・儲かる農業」を実現し、安全で安心な食料の安定供給を目指します。

4つの  
基本方針

- 1 新たな担い手の確保
- 2 潜在力をフル活用した生産強化
- 3 新たな流通ルートの開拓、販路拡大
- 4 安心できる農畜水産業と農村の環境整備

計画の詳細は  
こちらから ▶



## アグリパーク構想の進め方

楽しい農業を体験できる「スタートアップの場」のモデル構築と、本格農業へのステップアップに向けた支援を進めます。

県庁マルシェ  
はじめました!

毎月第3水曜日に、新鮮な県産野菜などをお手頃に販売! 詳細は、公式SNSで確認を。



## TOPICS

01 岐阜県内にお住まいの方へ!  
住宅リフォーム工事に補助金が支払われます!

県では、「岐阜県住宅リフォーム支援事業費補助金」の申請を受け付けています。お住まいの住宅をリフォームされた方(※)に向けて、リフォームに係る経費の20%(上限60万円)を補助します。物価高で、なかなかリフォームに踏み切れないでいた皆様に限らず、近い将来にリフォームを検討している皆様も、これを機に、毎日の暮らしをより快適にしてみませんか?(※岐阜県内にお住まいで、岐阜県内に本社のある建設業許可を取得している事業者との工事請負契約を締結された方に限ります。)



● 問/県住宅課 ☎058(272)8693

02 太陽光パネル・蓄電池共同購入キャンペーン  
の参加者募集

県と協定を締結したアイチューザー(株)が太陽光パネルや蓄電池の共同購入キャンペーンの参加者を募集します。参加登録していただくと、無料で事前見積りを確認でき、お得な割引率で購入いただけます。

- 申込方法/ウェブサイト
  - 申込期間/5月7日(木)~12月10日(木)
  - 申込・問/岐阜県みんなのおうちに太陽光事務局(県協定締結事業者:アイチューザー(株)内)
- ☎0120(723)100

Q 岐阜県みんなのおうちに太陽光



## 03 【広報紙を読んで応募!】LINEプレゼントキャンペーン

防災情報や県政情報など、暮らしに役立つ様々な情報を発信している公式LINE「岐阜県」は、おかげさまで友だちが約17,000人!

もっとたくさんの人に使っていただきたい! そんな気持ちを込めてプレゼントキャンペーンを実施します。

簡単なアンケートに答えて応募いただいた方の中から抽選で10名様に岐阜県の特産品(3,000円相当)をプレゼントします。

公式LINE「岐阜県」を友だち登録し、LINEのメニューからご応募ください。

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

● 問/県秘書広報課 ☎058(272)1114

応募締め切り | 5月31日(日)



## こんにちは 市民病院です

### 緩和ケアチーム

当院では、定期的に緩和ケアチームによる「緩和ケアカンファレンス」を開催しています。緩和ケアとは、がんなどの重い病気を持つ患者さんやそのご家族が感じる、身体の痛みや息苦しさはもちろん、不安や悩みといった心のつらさや日常生活での不便さにも目を向け、その方らしく穏やかに過ごせるよう支える医療のことです。病気と向き合う患者さんとご家族の心身の負担を少しでも和らげ、生活の質を保つために欠かせないケアです。

このカンファレンスでは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、リハビリスタッフなど、多くの職種が集まり、一人ひとりの患者さんの状況や要望を共有しながら、より良い支援方法について話し合います。例えば、医師が治療の方針や病状の見通しを伝え、看護師が日々の生活の変化や患者さんの気持ちを報告。管理栄養士は食事や栄養面の工夫を提案し、薬剤師は薬による効果や副作用の管理について助言します。さらに、リハビリスタッフは動きや日常生活の機能をサポートする視点から意見を出し合い、それぞれの専門性を活かして話し合います。

こうして多方面から意見を集めることで、「今、この患者さんにとって最もつらいことは何か」「どんな関わりが安心や安らぎにつながるのか」をじっくり考えられます。緩和ケアは、病気が進んだときだけでなく、治

療の早い段階から関わるのが大切です。身体的な症状だけでなく、心のケアや生活のサポートも同時に行うことで、患者さんができるだけ快適に、そしてその人らしく毎日を過ごせるよう支えています。

私たち緩和ケアチームは、これからも多職種が連携しながら、患者さんにご家族に寄り添った医療の提供に努めてまいります。気軽にご相談いただける環境づくりにも力を入れていきたいと考えています。



問 飛騨市民病院  
☎ 0578-82-1150



<その74> はじめませんか？

### 暮らしの質を上げる

会社勤めに定年はあっても、毎日の生活の中での家事には定年がありませんから、歳を重ねるごとに、若い頃と同じように家事をこなすことが次第に難しくなり、重荷に感じることも増えてくると思います。

日常的に行っている家事のやり方は、各家庭でそれぞれ違いがあり、もしかしたら、気づかぬままに無駄な家事を一生懸命やっているかもしれません。そこで、これまでの思い込みを一旦手放して、家事を楽にこなす工夫を考えてみませんか。

家事を楽にするなら『物を減らす』この一言につきます。そうすることで労力も軽減することができるのです。

例えば、当然のことながら片付けが楽になります。物を減らし定位置さえ決めておけば、少しくらい散らかったとしても、簡単に元に戻すことができますし、物が少ない分ほこりもたまりにくく、たまっていても、いちいち除ける物がないので拭きやすくなります。

また掃除機をコードレスに変えたり、床には物を置かないようにすれば労力はずいぶん違ってきます。

毎日の食事作りも、あまり使わない調理器具や食器を減らせば、出し入れがスムーズになります。洗い物を減らそうと思えば、一つのお皿におかずを盛り切りにしてしまうという手もあります。冷蔵庫の中も中身を全部把握できるくらいの食材にし

ておけば、献立を考えることもスムーズです。

物を減らし、家事を楽にすることで得られる効果は、単なる労力の軽減にとどまりません。生活がシンプルになれば余裕やゆとりが生まれます。余裕が生まれれば生活の質も上がり、豊かで快適な暮らしになることでしょう。

### 6月の終活セミナー 安心+楽に暮らせる 片付け術

■ 6月6日(土) 13:30 ~ 15:00  
■ 神岡町コミュニティセンター

お申し込みは下記まで

問 飛騨市終活支援センター  
(飛騨市社会福祉協議会内)  
☎ 0577-73-3214

2026年4月30日現在

## お誕生

【古川町】 前田 桜佳	東町	大輔・佳奈恵
【河合町】 岩佐 縁楽	角川	善法・穂月
【神岡町】 ドン ミハン	殿	ドン ミケンドラ ティン ガウリ

## お悔み

【古川町】 中山 まち子	杉崎	(74)
齋藤 博	杉崎	(72)
中嶋 君子	吉之町	(91)
橋渡 とよ子	下気多	(88)
千代田 英一	是重一丁目	(88)
政井 美佐子	三之町	(96)
森茂 保	栄一丁目	(91)
【河合町】 岩井 文恵	中澤上	(89)
【宮川町】 野道 一枝	牧戸	(94)
【神岡町】 下野 秀夫	江馬町(江馬5)	(91)
松本 勝子	山田	(88)
林 理恵子	坂富町(坂富2)	(69)

西野 園恵	朝浦(八幡2)	(87)
蒔田 広行	船津(蔵前)	(65)

## ご寄附

【ウクライナ人道危機救援金】 味処古川協会 様(古川町)	金1万円
【令和6年9月能登半島大雨災害義援金】 味処古川協会 様(古川町)	金1万円
【飛騨市子育て支援事業へ】 ヒミスケ 代表 氷見 大輔 様(古川町)	金5千円
【飛騨市民病院へ】 匿名(高山市)	金2千円
【地域の子どものための未来に関する事業へ】 エコステーションたかはし古川店ご利用のお客様(古川町)	金35,940円
【観光・まちづくり事業へ】 「飛騨古川」を愛するかながわ友の会 会長 野村 隆 様	金1万円
【飛騨市文化交流センター20周年記念事業へ】 第一ステージ株式会社 様(愛知県) 企業名のみ公表	
【関係人口と共創するまちづくりプロジェクトへ】 株式会社三川屋タンス店 様(高山市) 企業名のみ公表	
【飛騨市がんばれ応援寄附金(ふるさと納税)】 全国の方からたくさんのご寄附をいただきました 2026年4月分	1,162件 金2,856万円

## 人口の動き (5月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
10,229	10,843	21,072	8,832
出生 6	転入 100		
死亡 24	転出 75		
高齢化率 40.80%			

## 町別人口内訳

古川町	13,128
河合町	742
宮川町	500
神岡町	6,702

## 消防の状況 (4月30日現在)

本年累計	火災	救急
飛騨市	2	395
その他(管外出勤)	0	0
前月比	0	+97

## 交通事故の状況 (4月30日現在)

	人身交通事故			物損 交通事故
	件数	死者	傷者	
本年累計	4	0	4	164
去年同期	4	0	5	213
増減	0	0	-1	-49

# 祝

## 全国広報コンクール・内閣総理大臣賞受賞!



### 人口減少時代の挑戦! 住民とファンで目指す持続可能なまちづくり ~合言葉はうれしい! 楽しい! 面白い!

自治体の優れた広報活動を表彰する「全国広報コンクール」で、飛騨市が最高位の「内閣総理大臣賞」を受賞しました。県内では初めての快挙です。飛騨市ファンクラブやヒダスケ!などの一連の取組みとSNSや紙媒体などを活用した積極的な広報活動が評価されました。今後も多分野にわたり、市の取組みや皆さんの活躍が伝わるように取り組んでいきます。



## 4/19・20 古川祭 5.5万人を魅了



4月19・20日に春の訪れを告げる「古川祭」が快晴の下、盛大に行われました。起し太鼓では付け太鼓が激しくもみ合い、熱気に包まれました。

屋台曳行やからくり、子ども歌舞伎も奉納され、雨天により短時間でしたが夜祭りも行われ、提灯に照らされた屋台の幻想的な姿に市民や観光客を魅了しました。

今年も人手不足解消の一助として「ヒダスケ！」から市内外合わせて58人が参加しました。また、古川中学校と吉城高校の生徒による美化活動や外国語通訳も行われました。

2日間で5.5万人が賑わいました。



提灯を纏い雰囲気を変えた屋台



屋台曳行に市内外の方も参加



中高生による美化活動



子どもたちも大活躍

## 4/25 飛騨神岡祭 町に春風を吹き込む



4月25日に飛騨三大祭りの最後を飾る飛騨神岡祭が行われました。同祭は大津神社、白山神社、朝浦八幡宮の合同例祭です。

正午には総勢700人からなる大行列「渡御行列」が出発。祭り囃子や雅楽に合わせ、きらびやかな祭り衣装を着けた氏子らが優雅に練り歩き、平安絵巻さながらの行列が町に春風を吹き込みました。

行列の終点となる本町防災公園では、舞姫らが『浦安の舞』や『豊栄の舞』を奉納。『金蔵獅子』や『曲獅子』なども披露され、30分以上にわたり観客を魅了しました。



迫力ある獅子舞



祭りのお囃子



鐘を鳴らす鶏鬨楽



勇壮な神輿



4/1 新たに採用された市職員へ  
辞令を交付しました

市職員新規採用者の辞令交付式が行われました。行政職、技術職、医療職、消防職など計21名の新規職員に都竹市長から辞令が手渡された後、都竹市長は市職員としての心構えを語り、エールを送りました。



4/1 「知られざる神岡の縄文」パネル展示  
が神岡城で開催されています

神岡町内にあるストーンサークルの史跡や特徴的な縄文遺物など、あまり知られていない「神岡の縄文」について魅力的に紹介する企画パネル展「知られざる神岡の縄文」が11月30日まで開かれています。



4/3 古川中出身の鎌村陸斗さんが「日本  
ジュニア管打楽器コンクール」に出場

古川中学校出身で、高山西高校ウインドアンサンブル部に所属する鎌村陸斗さん(3年)が「日本ジュニア管打楽器コンクール」ソロ部門サクソフォンの部に出場し、下出尚弘教育長に喜びを報告しました。



4/3 「コー・イノベーション大学」の  
入学式が行われました

飛驒市を主な拠点として開学した「コー・イノベーション大学(CoIU)」の入学式が行われました。飛驒地域では初となる4年制の単科大学で、第1期生として全国から約50人の学生が集いました。



4/4 春の風物詩「瀬戸川の鯉の引っ越し」  
が行われました

越冬のため天神池(増島城堀)に移されていた瀬戸川の鯉の引っ越しが行われました。大勢のボランティアが参加し、天神池で1,192匹の色とりどりの地鯉を網ですくい、瀬戸川まで軽トラで往復して運びました。



4/4 「コー・イノベーション大学」の魅力  
を紹介する説明会が開かれました

「コー・イノベーション大学(CoIU)」の理念やコンセプトについて地元の皆さんに紹介する説明会が開かれました。神岡会場には約80人、古川会場には約130人が参加し、熱心に耳を傾けました。



4/5

### 令和8年度飛驒市消防団入退団式 が行われました

飛驒市消防団の令和8年度入退団式が開催され、約200名が出席しました。今年度は基本団員45名と支援団員16名が退団し、基本団員21名と支援団員14名が新たに入団。地域防災への決意を新たにしました。



4/6

### 新たに「神岡こども園」が 開園しました

神岡町内の保育園再編に伴い、4月から新たに発足した公私連携型保育所型認定こども園「神岡こども園」の開園式が行われ、園児約100人や保護者、関係者が出席し、新たな門出を祝いました。



4/10

### ご寄附をいただいたひだしんイノベーションパートナーズ(株)へ感謝状

高山市のひだしんイノベーションパートナーズ(株)から、飛驒市の「地域クラブ活動推進体制整備事業」に対し、200万円という多額のご寄附をいただいたことを受け、市は同社に感謝状を贈りました。



4/11

### 満開の桜の下、第12回飛驒神岡夜桜夜市が開催されました

神岡町市街地を流れる山田川河畔のライトアップされた桜並木や、川西ポケットパーク周辺で「第12回飛驒神岡夜桜夜市」が開催され、多くの来場者で賑わいました。



4/13

### 太江杉崎バイパスの完成を受け、安全祈願祭と開通記念式典を開催

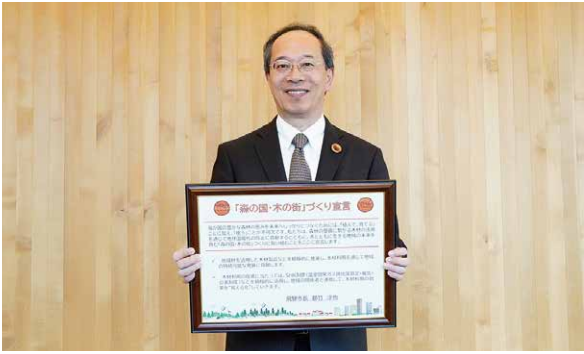
古川町杉崎と同町太江を結ぶ主要地方道神岡河合線「太江杉崎バイパス」が開通したことを受け、杉崎地内で安全祈願祭と開通記念式典を開催。永年にわたる工事の完成を盛大に祝いました。



4/16

### 神岡中学校生徒会が「新入生歓迎会」を開催

今年度入学した1年生を対象に、神岡中学校生徒会が「新入生歓迎会」を開き、上級生が歓迎の合唱を披露したり、1年生の新生活に対する不安の声などに耳を傾けアドバイスしたりしました。



4/17 県内の市町村で初めて  
「森の国・木の街」づくり宣言

林野庁が全国の自治体や企業等に募集している森林資源を循環利用し、地域の持続的な発展等を指す『森の国・木の街』づくり宣言に、県内の市町村としては初めて飛騨市が参画しました。



4/23 飛騨市消防本部古川消防署北分署  
と神岡消防署が山火事訓練を実施

山火事予防運動の一環で飛騨市消防本部古川消防署北分署と神岡消防署が、旧白木ヶ峰スキー場で山火事訓練を行い、署員ら20人が参加。足元の悪い斜面などで消火活動を行いました。



4/27・28 動物による農作物被害を防ぐ  
「電気柵設置研修会」を開催しました

野生動物による農作物被害を防ぐ電気柵の正しい設置方法を学ぶ研修会が開かれ、市鳥獣被害対策サポートセンターの原田大輔さんが、動物の種類に応じた電気柵の設置や管理について解説しました。



4/22 市内の郵便局長等の皆さんに「地域  
見守り相談員」の委嘱状を交付

今年度から市内5つの郵便局の郵便局長や職員の皆さんが、主に75歳以上の1人暮らしの高齢者宅を訪問して見守り活動を行う「地域見守り相談員」に加わることで、委嘱状が交付されました。



4/24 市図書館の職員を対象に「認知症サ  
ポーター養成講座」を開催しました

館内で「認知症カフェ」の開設を検討している市図書館の職員を対象にした「認知症サポーター養成講座」が神岡図書館で開かれ、同館の職員6人が受講し、認知症への理解を深めました。



4/30 クロスカントリー・岩本啓吾選手が  
パラリンピック出場を報告

ミラノ・コルティナ2026冬季パラリンピックに出場した神岡町山之村出身の岩本啓吾選手が市役所を訪れ、都竹市長らに出場を報告。今大会を振り返り、次大会出場へ向けての意気込みを語りました。

# 地域に寄り添う 集落支援員をご紹介します

宮川町で地域の声に耳を傾け、暮らしを支える

集落支援員は地域で楽しく元気に暮らすためにやりたいことやあったらいいことなどを聞き取り、市役所と情報を共有し、地域の課題解決につなげていく取組みを行っています。



集落支援員

ひがし さとし

東 佐藤司 さん

委嘱日

令和5年4月3日

担当地域

宮川町

## これまでの活動を教えてください

地域を巡回しながら、声かけや何気ない会話を通じて見守り活動を行い、空き巣被害への注意やクマの出没、交通量の増加に伴う安全対策など、日常生活に関わる情報もお伝えしています。聞き取った地域の声は振興事務所へ報告しており、免許返納後の移動への不安は多く、市ではバス運行や移動販売の継続などの対応につなげています。また、人口が減少し近くに話をする人がいない、集まる機会が減って交流の場が少なくなったなどの声も多く聞かれています。

## ぎふの田舎応援隊やヒダスケ!と連携 農作業支援 (令和5・6年度)

高齢化等により耕作ができなくなった農地の荒廃を防止するため、手間のかかる植え付けや刈り取り作業を手助けする取組みを行いました。



## 笑顔と語らいが生まれる 交流の場づくり

語らい交流できる場として、懐かしい映像を流しながらモノづくり体験ができる場を企画しています。作品は宮川振興事務所1階ロビーに一部展示されています。



ござづくり

## 活動のーコマ 豆腐づくり教室

2月28日、宮川町老人福祉センターで豆腐づくり教室を開催し、市民9名が参加しました。近頃は集う機会や会話の機会が少なくなっているとの声を受け、世代を超えて昔の話を聞きながら知恵や技術を学べる場として、今年度は豆腐づくり教室や笹もちづくりなどのイベントを実施しました。



### 参加者の声

参加者との交流が楽しかった。こういったイベントで皆と交流できることが生きがいになっています。



## 皆さんへのメッセージ

いつまでも健康で楽しく暮らし続けられるよう、趣味や仕事、ボランティアなどを通じて地域や人、社会とのつながりを持ち続けられるようお手伝いをしていきたいと考えています。